

補助事業番号 20-55

補助事業名 平成 20 年度 太陽光発電関連機械工業に関する調査等補助事業

補助事業者名 財団法人九州地域産業活性化センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

太陽光発電関連機械工業の振興を図るため、全国有数の産業拠点となっている半導体で培われた技術や人材等の強みの活用を進め、もって機械工業の構造改革と事業革新、地域中小企業の参入、新たな立地等を推進するために必要な調査研究とシンポジウムを実施し、現状と課題の把握、産業ニーズに応える具体的な支援方策等を明らかにする。

(2) 実施内容

①調査研究

産学官の有識者からなる調査委員会を設置し、平成 20 年 7 月～平成 21 年 1 月にかけて太陽光発電の普及促進及び太陽光発電関連機械工業の振興施策を検討した。

この結果を報告書に取りまとめ、その中で、太陽光発電関連産業振興のための 7 つの「裾野形成支援スキーム」と太陽光発電の普及促進のための 5 つの柱からなる「普及導入支援スキーム」を提案した。

[→報告書 \(PDF6.5MB\)](#)

②シンポジウム&ビジネス交流会

平成 21 年 3 月 6 日にシンポジウム&ビジネス交流会を開催した。

シンポジウムでは、調査委員会での検討成果報告の他、講演、企業プレゼンテーション、パネルディスカッション及び企業ポスター展示等多彩な内容で情報発信を行なった。また、シンポジウム狩猟後、ビジネス交流会を開催し、太陽光発電関連企業・団体等の自由交流の機会を提供した。

[→シンポジウム&ビジネス交流会の概要 \(PDF400KB\)](#)

2. 予想される事業実施効果

調査研究では、調査委員会に地元自治体や関連企業等多数のオブザーバー参加があった。彼らが調査委員会での検討や議論の内容を持ち帰り、自所で進めている太陽光発電の普及促進策等の参考にする一方で、自所での取り組みについての情報提供を行なう等の新たな情報交流の流れが生まれた。この事により、本事業とのシナジー効果が生じ、九州域内における自治体、企業太陽光発電の普及促進策の検討がより進展する事が期待できる。

また、シンポジウム&ビジネス交流会については、九州内外から予想を大きく超える参加者があり、幅広く情報発信ができたと共に、参加者にとっても貴重な交流・情報交換の場となった。このため、これを契機として、太陽光発電関連企業間の交流や太陽光発電関連産業に対する地元企業の参入の動きが、今後より一層促進される事が予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

平成 20 年度 太陽光発電関連機械工業に関する調査等補助事業 ～ソーラーアイランド九州の実現に向けて～ 報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人九州地域産業活性化センター(ザイダンホウジンキョウシュウチイ
キサンギョウカッセイカセンター)

住所：810-0004

福岡県福岡市中央区渡辺通五丁目14番12号

代表者：会長 鎌田 迪貞(カマタ ミチサダ)

担当部署：企画部(キカクブ)

担当者名：課長 御沓 史郎(ミクツ シロウ)

電話番号：092-713-6735

F A X：092-713-4292

E-mail：pvsympo@kiac.or.jp

U R L：<http://www.kiac.or.jp>